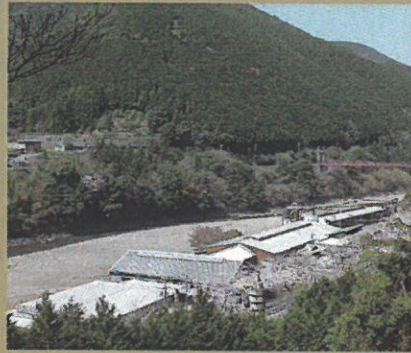


田辺市中辺路木材加工場

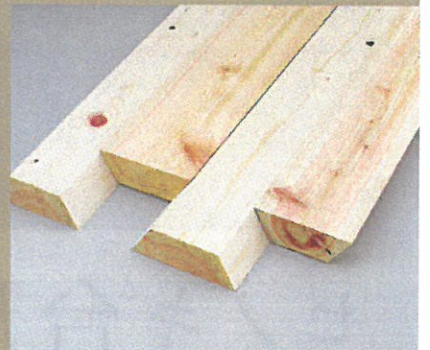
紀伊半島の中央部に位置する田辺市。この田辺市に立地しているから「田辺市中辺路木材加工場」という名前がついているかという、それだけではありません。設立は、昭和61年11月1日。実は、田辺市役所が維持管理する工場なのです。

田辺市は紀伊半島有数の林業地でもあります。人工林の適正な維持管理を支え、推進するために必要となる間伐材の有効利用。そのために生まれたのが、台形集成材を生産する田辺市中辺路木材加工場です。



ご存知ですか？ 台形集成材。

日本の人工林を正しく管理し、木々を育成するうえで欠かせない間伐作業。しかし、その際に山から出てくる「間伐材」は細く、利用方法が少ないことが難点でした。当社では、その細い（丸い）間伐材を台形に切り接着することで、出来るだけ無駄のないように木材を活用する「台形集成材」を製作しています。これにより、間伐材を新たな紀州銘木として、建築の内装材や家具材などに蘇らせることができるのです。



広がる可能性。

台形集成材は、台形に切り出した小さな木片をつなぎ合わせていくので、床材や壁材といった内装での利用から、下駄箱やロッカー、家具に至るまで様々な用途にお使いいただくことができます。もちろん、ご予算と好みに応じた対応が可能です。

小学校、幼稚園・保育所、商業施設など、今日も全国各地へ台形集成材をお届けしています。

